

## 令和4年度事業報告

令和4年度は、公益目的事業である廃棄物処理事業及び環境保全啓発事業について、次のとおり事業運営を行った。

### 1 廃棄物処理事業

#### (1) エコパークいずもぎきの運営

エコパークいずもぎきの令和4年度の営業状況は、処理量 60,800 トン、料金収入 1,660,000 千円を見込んだところ、決算は、処理量で 5,355 トン増 (8.8%増) の 66,155 トン、料金収入で 228,474 千円増(13.8%増)の 1,888,474 千円となった。

前年度との比較では、搬入量を抑制の方向に適正化させるための対策を講じたことにより、処理量で 14,656 トン減 (18.1%減)、料金収入で 320,849 千円減 (14.5%減) となった。

#### ア 令和4年度の営業状況

- ① 処理量 66,155 t (278 t/日、6.7 t/台)
- ② 料金収入 1,888,474 千円 (28,546 円/t、192,544 円/台)
- ③ 搬入車両数 9,808 台 (41 台/日)
- ④ 年間搬入受入日数 238 日
- ⑤ 施設視察者 46 団体 延べ 233 人 (前年比 82.6%)  
(県外：8 団体 延べ 12 人、県内：38 団体 延べ 221 人)

⑥ 令和4年度の主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種 類	処理量	構成比	処理料金	構成比
選別等残さ ※「解体残さ」から名称変更(R5.1)	20,448	30.9	605,871	32.1
石膏ボード	11,161	16.9	334,479	17.7
有機・無機・上水道汚泥等	7,545	11.4	175,866	9.3
廃プラスチック	6,086	9.2	203,036	10.8
鋳さい	5,579	8.4	116,145	6.2
シュレッダーダスト	2,681	4.1	93,342	4.9
非飛散性アスベスト	2,508	3.8	110,999	5.9
燃え殻	2,278	3.4	61,681	3.3
金属くず、ガラス、陶磁器くず	1,863	2.8	39,724	2.1
下水道汚泥	323	0.5	10,640	0.6
粗大不燃ごみ処理残さ	50	0.1	1,798	0.1
その他	5,633	8.5	134,893	7.1
合 計	66,155	100.0	1,888,474	100.0

⑦ 令和3年度の主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種 類	処理量	構成比	処理料金	構成比
解体残さ	33,275	41.2	913,282	41.3
石膏ボード	12,275	15.2	344,502	15.6
廃プラスチック	8,008	9.9	250,295	11.3
有機・無機・上水道汚泥等	7,585	9.4	162,215	7.3
シュレッダーダスト	3,574	4.4	123,624	5.6
鋳さい	2,956	3.7	58,397	2.6
燃え殻	2,821	3.5	71,127	3.2
非飛散性アスベスト	2,578	3.2	111,668	5.1
金属くず、ガラス、陶磁器くず	1,888	2.3	38,093	1.7
下水道汚泥	303	0.4	9,658	0.4
粗大不燃ごみ処理残さ	44	0.1	1,526	0.1
その他	5,504	6.8	124,936	5.7
合 計	80,811	100.0	2,209,323	100.0

⑧ 操業開始（平成11年度）から令和4年度までの主な廃棄物の種類

単位：t、%、千円、%

種 類	処理量	構成比	処理料金	構成比
選別等残さ ※「解体残さ」から名称変更(R5)	402,466	20.1	8,797,337	19.6
石膏ボード	259,479	13.0	5,203,908	11.6
燃え殻、ばいじん、焼却残さ	256,396	12.8	5,834,625	13.0
有機・無機・上水道汚泥等	255,926	12.8	6,117,745	13.6
廃プラスチック	156,450	7.8	3,062,413	6.8
シュレッダーダスト	105,611	5.3	2,932,378	6.5
鋳さい	99,022	4.9	1,338,343	3.0
下水道汚泥・し尿汚泥	93,807	4.7	1,731,832	3.9
金属くず、ガラス、陶磁器くず	88,416	4.4	1,345,033	3.0
粗大不燃ごみ処理残さ	75,428	3.8	2,472,498	5.5
非飛散性アスベスト	36,521	1.8	1,519,131	3.4
その他	171,670	8.6	4,501,419	10.0
合 計	2,001,192	100.0	44,856,662	100.0

イ 年度別営業状況等

①年度別計画処理量と処理実績

単位：t、%

年度	計画処理量 (a)	処理実績 (b)	(b) / (a)
令和4	60,800	66,155	108.8
令和3	60,800	80,811	132.9
操業開始からの累計	1,772,856	2,001,192	112.9

注：災害廃棄物、汚染土壌を含む

②年度別計画収入額と収入実績

単位：千円、%

年度	計画収入額 (a)	収入額実績 (b)	(b) / (a)
令和4	1,660,000	1,888,474	113.8
令和3	1,400,000	2,209,323	157.8
操業開始からの累計	40,831,924	44,856,662	109.9

注：災害廃棄物、汚染土壌を含む

(参考) 年度末残容量の推移

	処分場処理能力	残容量 (m <sup>3</sup> )
平成11年度末	1,484,000	1,407,536
平成12年度末	〃	1,289,660
平成13年度末	〃	1,135,558
平成14年度末	〃	1,050,642
平成15年度末	〃	943,756
平成16年度末	〃	846,730
平成17年度末	〃	754,535
平成18年度末	〃	662,291
平成19年度末	〃	568,077
平成20年度末	〃	512,290
平成21年度末	〃	462,870
平成22年度末	〃	400,559
平成23年度末	〃	305,515
平成24年度末	〃	250,208
平成25年度末	〃	186,950
平成26年度末	〃	125,719
平成27年度末	1,605,800	166,000
平成28年度末	〃	112,609
平成29年度末	〃	68,027
平成30年度末	2,543,200	908,999
令和元年度末	〃	786,209
令和2年度末	〃	678,530
令和3年度末	〃	586,877
令和4年度末	〃	519,308

注：残容量には覆土・押さえ盛土分を含む。

注：平成27年度末は第2期処分場積増後 (+121,800m<sup>3</sup>) の容量。

注：平成30年度末は第3期処分場増設後 (+937,400m<sup>3</sup>) の容量。

## (2) エコパークいずもぎきの搬入量適正化

これまで処理量が計画を上回って推移し、埋立完了時期が早まりそうな懸念があったことから、令和4年5月の理事会で了承をいただいた搬入量抑制方針に基づき、行政と連携した大口取引先への搬入量削減要請等を行うとともに、処理料金の引上げを実施した。

- ・取引先への引上げ通知 令和4年9月
- ・引上げ時期 令和5年1月及び4月の2段階

## (3) 次期処分場建設に向けた取組

県が、次期処分場建設の候補地を上越市柿崎区の2地区に絞り込んだことを受け、その整備・運営を担う立場から、現地における業務拠点を開設し、地元説明に必要な現地調査等を順次実施し、建設合意の基礎となる基本構想素案をとりまとめた。

上記2地区の両方から事業着手についての了解が得られたことから、新潟県議会令和5年2月定例会において、両地区を「整備予定地」とすることが報告された。

## 2 環境保全啓発事業

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく新潟県地球温暖化防止活動推進センターの事業として、県民に対する普及啓発に加え、法改正により新たに事業者に対する普及啓発に取り組むほか、引き続き、リサイクル推進事業の他、事業団の環境保全普及啓発事業を行った。

- ① 地域における地球温暖化防止活動促進事業（環境省補助、県委託事業）  
市町村等と共同で地球温暖化防止の普及啓発を行うとともに、国民運動「COOL CHOICE」の普及等を行った。
- ② 地球温暖化防止活動推進員等活動支援事業（県委託事業）  
地球温暖化防止活動推進員に対し研修会を開催するとともに、地域の環境講座への派遣等を行った。
- ③ 事業者向け地球温暖化防止活動啓発事業（環境省補助、県委託事業）  
県と共同で関係機関からなる推進協議会を設立し、県内中小事業者等の地球温暖化防止の取組を促進するための各種情報提供・相談業務等を行った。
- ④ 「リサイクルアドバイザー」設置業務（県委託事業）  
産業廃棄物のリサイクルに係るアドバイス業務を実施するとともに、優れた3Rの取組などの情報収集や発信を行った。
- ⑤ 環境保全普及啓発事業（事業団事業）  
環境イベントへの参加、環境保全に関する地域活動の支援、環境学習の取組の推進等を行った。